

1.	②	11.	①	21.	①	31.	③	41.	①
2.	②	12.	②	22.	②	32.	②	42.	①
3.	④	13.	①	23.	②	33.	②	43.	①
4.	③	14.	①	24.	③	34.	①	44.	④
5.	④	15.	③	25.	①	35.	③	45.	④
6.	③	16.	④	26.	①	36.	④	46.	①
7.	③	17.	①	27.	②	37.	①	47.	①
8.	③	18.	④	28.	①	38.	③	48.	②
9.	④	19.	③	29.	④	39.	②	49.	①
10.	③	20.	④	30.	②	40.	②	50.	②

1.

解答 ②

【解説】

正解は②rapidly です。この副詞は、物事が短い時間のうちに、非常に速く変化・進行する様子を表します。The city is growing rapidly. (その都市は急速に発展している)。①rarely は「めったに～ない」、③readily は「容易に、快く」、④regularly は「定期的に、規則正しく」という意味です。

◆補足：rapidly は形容詞 rapid (速い、急速な) の副詞形です。類義語の fast は最も一般的な「速い」ですが、rapidly は特に変化のスピードが速いことを表す、ややフォーマルな単語です。quickly も「速く」ですが、動作そのものの速さに焦点が当たることが多いです。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「根」です。root は、植物の「根」を指す最も基本的な単語です。The roots of the tree go deep into the ground. (その木の根は地面深くまで伸びている)。①「屋根」は roof、③「道」は road や route、④「部屋」は room で、いずれも root と音が似ているので注意が必要です。

◆補足：root は、植物の根から比喩的に、物事の「根源、原因」the root of the problem (問題の根源) や、数学の「平方根」square root、言語の「語根」といった意味でも使われる非常に重要な単語です。

3.

解答 ④

【解説】

正解は④「種」です。seed は、植物の「種」を意味します。sow seeds で「種をまく」という表現になります。①「雑草」は weed、②「砂」は sand、③「海藻」は seaweed です。

◆補足：seed は、比喩的に物事の「原因、根源」という意味で使われることもあります。the seeds of conflict（争いの種）。また、スポーツのトーナメントなどで、有力選手を優位な位置に配置する「シード」もこの単語です。

4.

解答 ③

【解説】

正解は③warn です。この動詞は、誰かに起こりうる危険や不快なことについて、事前に知らせて「警告する、注意を与える」ことを意味します。warn someone of/about ~（人に～について警告する）や warn someone not to do（人に～しないよう警告する）の形で使います。The sign warns people about the danger.（その標識は人々に危険を警告している）。①warm は「～を暖める」、②want は「～が欲しい」、④wear は「～を着ている」という意味です。

◆補足：warn の名詞形は warning（警告）です。warm（暖かい）とスペルが似ているので混同しないようにしましょう。

5.

解答 ④

【解説】

正解は④「外見、様子」です。appearance は、人や物の「外見、見た目、身なり」を指します。また、人が公の場に姿を現す「出現、登場」という意味でも使われます。You should not judge people by their appearance.（人は見かけで判断すべきではない）。①「両親」は parents、②「見本」は sample、③「好み」は preference です。

◆補足：appearance は動詞 appear（現れる、～のように見える）の名詞形です。make an appearance で「姿を見せる、登場する」という表現になります。

6.

解答 ③

【解説】

正解は③moistです。この形容詞は、表面や空気などが、不快ではない程度に「湿っている、潤いのある」状態を表します。Keep the soil moist, but not wet. (土は湿った状態に保ち、濡らさないようにしてください)。①mostは「最も多くの」、②modestは「謙虚な」、④mildは「穏やかな」という意味です。

◆補足：moistの名詞形はmoisture(水分、湿気)です。dampも「湿った」ですが、dampはしばしば不快で冷たい湿気を指すネガティブなニュアンスで使われます。一方、moistは、ケーキが「しっとりしている」など、ポジティブな文脈でも使われます。

7.

解答 ③

【解説】

正解は③nationです。この単語は、政治的に組織された「国家」や、その国に住む「国民」全体を指します。the United Nations(国際連合)のNationsはこの単語の複数形です。①natureは「自然」、②notionは「概念、考え」、④stationは「駅」です。

◆補足：nationの形容詞形はnational(国家の、国民の)です。national holiday(国民の祝日)やnational team(ナショナルチーム)のように使います。名詞nationalityは「国籍」を意味します。

8.

解答 ③

【解説】

正解は③imitateです。この動詞は、人や物の様子をそっくりそのまま「まねる、模倣する」ことを意味します。Parrots can imitate human speech. (オウムは人間の言葉をまねることができる)。

①initiateは「～を始める」、②intimateは形容詞で「親密な」、④imagineは「～を想像する」という意味です。

◆補足：imitateの名詞形はimitation(模倣、模造品)です。類義語のcopyも「まねる」ですが、imitateは声や仕草など、より行動のニュアンスが強いです。mimicは、しばしば面白がって、あるいはからかって「(そっくりに)まねる」というニュアンスがあります。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④observeです。この動詞は二つの主要な意味を持ちます。一つは、科学的な文脈で「～を観察する」こと、もう一つは、法律や規則、慣習などを「守る、遵守する」ことです。The scientist observed the behavior of the monkeys. (その科学者はサルの行動を観察した)。①obtainは「～を得る」、②opposeと③objectはどちらも「～に反対する」という意味です。

◆補足：observe の名詞形は observation（観察）と observance（遵守）があり、動詞の二つの意味にそれぞれ対応しています。また、「（観察して）～だと気づく、～と述べる」という意味で使われることもあります。

10.

解答 ③

【解説】

正解は③「遅かれ早かれ」です。sooner or later は、正確な時期はわからないが、将来的には必ず何かが起こることを示す副詞句です。「いつかは、遅かれ早かれ」と訳します。Sooner or later, you will have to make a decision.（遅かれ早かれ、あなたは決断しなければならなくなるだろう）。①「多かれ少なかれ」は more or less、②「今すぐにでも」は right away や at any moment、④「あれこれ」は this and that です。

◆補足：sooner（より早く）か later（より遅く）かはわからないが、いずれにせよ必ず起こる、という構成になっています。inevitably（必然的に）と近い意味で使われることもあります。

11.

解答 ①

【解説】

正解は①live on です。この句動詞は、特定の食べ物だけを食べて「生きている、～を常食とする」という意味や、特定の収入や金額で「生活する」という意味で使われます。Pandas live on bamboo leaves.（パンダは笹の葉を常食とする）。①live up to は「（期待など）に応える」、③live with は「～と一緒に住む、～を我慢する」、④live through は「（困難などを）経験して生き抜く」という意味です。

◆補足：He lives on a small pension.（彼は少ない年金で生活している）のように、お金を「頼りにして（on）」生活するというイメージを持つと分かりやすいでしょう。

12.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を持ち上げる」です。lift は、何かを低い位置から高い位置へ「持ち上げる」という基本的な意味を持つ動詞です。Can you help me lift this box?（この箱を持ち上げるのを手伝ってくださいませんか？）。①「去る」は leave、③「住む」は live、④「聞く」は listen です。

◆補足：lift は、イギリス英語では「エレベーター」を意味する名詞としても重要です（アメリカ英語では elevator）。また、霧などが「晴れる」ことや、制限が「解除される」こと、人の気分が「高揚する」ことなど、比喩的な意味でも広く使われます。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①as long as です。この接続詞句は、「～である限りは、～という条件で」という意味を表します。You can stay here as long as you keep quiet. (静かにしている限りは、ここにいていいですよ)。
②as soon as は「～するとすぐに」、③as far as は「～する範囲では」、④as well as は「～だけでなく…も」という意味です。

◆補足：as long as は、so long as に置き換えることもできます。意味は同じです。if と似ていますが、「その条件が続いている間は」という継続のニュアンスが含まれるのが特徴です。

14.

解答 ①

【解説】

正解は①convince です。この動詞は、誰かに証拠や論理を示し、ある事実や考えが正しいと「納得させる、確信させる」ことを意味します。convince someone that ...の形が基本です。I convinced him that I was telling the truth. (私は彼に、自分が真実を語っていると納得させた)。
②persuade は「(行動するように) ～を説得する」、③confirm は「～を確認する」、④confess は「～を告白する」という意味です。

◆補足：convince と persuade の使い分けは重要です。convince は「考え」を変えさせること、persuade は「行動」を促すことに焦点を当てます。ただし、日常会話では混同されることもあります。名詞形は conviction (確信、有罪判決) です。

15.

解答 ③

【解説】

正解は③「社会の、社交的な」です。social は、人間社会やその構造に関する「社会の、社会的な」という意味と、他の人々と一緒に過ごすことを好む「社交的な」という意味を持ちます。a social problem (社会問題) や a social event (懇親会) のように使います。①「特別な」は special、②「深刻な」は serious、④「科学的な」は scientific です。

◆補足：social の名詞形は society (社会) です。social media (ソーシャルメディア) や social distance (社会的距離) など、現代社会で頻出する言葉に含まれています。socialize は「(人々と) 交流する」という動詞です。

16.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を殺す」です。kill は、人や動物の命を奪う「～を殺す」という意味の最も一般的な動詞です。①「～にキスをする」は kiss、②「～を蹴る」は kick、③「～を満たす」は fill です。

◆補足：kill は、比喩的に「(時間)をつぶす」kill time や、「(計画などを) 台無しにする」kill a project、「(痛みなどを) 和らげる」kill the pain といった意味でも使われます。また、人を「笑い殺す」ほど面白いという意味で That joke killed me. のように言うこともあります。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「斜面」です。slope は、地面や山などの傾斜した表面、すなわち「坂、斜面、勾配」を意味します。a steep slope (急な坂) や a gentle slope (緩やかな坂) のように使います。a ski slope で「スキー場のグレンデ」を指します。②「石鹸」は soap、③「範囲」は scope、④「睡眠」は sleep です。

◆補足：slope は動詞としても使われ、「傾斜する、坂になる」という意味を表します。The garden slopes down to the river. (その庭は川に向かって下り坂になっている)。

18.

解答 ④

【解説】

正解は④「～を反映する」です。reflect は、光や音、熱を「反射する」という基本的な意味の他に、ある事柄が別の事柄の性質や実態を「映し出す、反映する」という比喩的な意味で非常によく使われます。例文は「その調査の結果は世論を反映している」となります。②「～を熟考する」は reflect on ~ の形で使われます。

◆補足：reflect の多義性を整理しましょう。①(光・熱・音などを) 反射する。②(物事の性質・実態などを) 反映する。③(on ~で) ~についてじっくり考える、内省する。名詞形は reflection (反射、反映、熟考) で、動詞のそれぞれの意味に対応しています。

19.

解答 ③

【解説】

正解は③cooperate です。この動詞は、共通の目標を達成するために、他人や他組織と「協力する、協働する」ことを意味します。cooperate with ~の形でよく使われます。We need to cooperate with each other to solve this problem. (この問題を解決するためには、互いに協力する必要がある)。①operate は「操作する、手術する」、②separate は「～を分ける」、④celebrate は「～を祝う」という意味です。

◆補足：cooperate の co-は「共に」を意味する接頭辞で、operate (働く、作用する) と組み合わせさせて「共に働く」→「協力する」という意味になります。名詞形は cooperation (協力)、形容詞形は cooperative (協力的な) です。

20.

解答 ④

【解説】

正解は④「～するために」です。in order to do は、行動の「目的」を表す最も一般的な表現の一つです。He studied hard in order to pass the exam. (彼は試験に合格するために一生懸命勉強した)。①「～するのをいとわない」は be willing to do、②「～しそうである」は be likely to do、③「～することになっている」は be supposed to do です。

◆補足：in order to do は、so as to do とほぼ同じ意味で、置き換えが可能です。どちらも to do (～するために) という不定詞の副詞的用法を、より明確に、そしてフォーマルにした表現です。単純な to do だけでも目的を表せますが、in order to do を使うと目的であることが明確になります。

21.

解答 ①

【解説】

正解は①「突然に」です。all at once は、予期せず、また急に物事が起こる様子を表し、suddenly とほぼ同じ意味で使われます。All at once, the lights went out. (突然、明かりが消えた)。②「とりわけ」は above all、③「結局は」は after all、④「全く～ない」は not at all です。

◆補足：all at once は、「同時に、一斉に」という意味で使われることもあります。Don't try to do everything all at once. (すべてのことを一度にやろうとするな)。文脈によって「突然に」なのか「同時に」なのかを判断する必要があります。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「～の助けを借りて」です。with the help of ~は、人や物の助けや援助があって、何かを成し遂げることができる状況を示します。「～のおかげで、～を用いて」と訳すこともできます。I finished

the report with the help of my colleagues. (同僚の助けを借りて、私は報告書を終えた)。①「～を除いて」は with the exception of ~、③「～と比較して」は in comparison with ~、④「～のなすがままに」は at the mercy of ~です。

◆補足：with the help of ~は by means of ~ (～という手段で) と意味が似ていますが、with the help of ~は特に人からの「援助」というニュアンスを強調することが多いです。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②huge です。この形容詞は、物や量、程度が「巨大な、莫大な」ことを示す、非常に一般的な単語です。a huge building (巨大なビル) や a huge success (大成功) のように使います。①human は「人間の」、③humble は「謙虚な」、④humid は「湿気の多い」という意味です。

◆補足：huge の類義語には enormous, vast, massive, giant などがあります。いずれも「大きい」ことを強調しますが、huge はその中でも最も一般的に使われる口語的な単語です。

24.

解答 ③

【解説】

正解は③precious です。この形容詞は、希少価値が高い、あるいは感情的に非常に「貴重な、大切な」物や人を表します。precious metals (貴金属) や my precious memories (私の大切な思い出) のように使います。①previous は「以前の」、②precise は「正確な、精密な」、④present は「現在の」または名詞で「贈り物」です。

◆補足：precious の語源は、名詞 price (価格) と同じで、ラテン語の pretium (価格、価値) に由来します。「価値が高い」というイメージが中核にあります。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「燃える、燃やす」です。burn は、物が火によって「燃える」(自動詞)、あるいは物を「燃やす」(他動詞) という両方の意味で使われます。The house burned down. (その家は全焼した)。He burned the old letters. (彼は古い手紙を燃やした)。②「稼ぐ」は earn、③「曲がる」は bend、④「向きを変える」は turn です。

◆補足：burn は、料理を「焦がす」という意味や、太陽が肌を「日焼けさせる」という意味、カロリーを「消費する」という意味でも使われます。過去形・過去分詞形は、規則変化の burned と不規則変化の burnt の両方が使われます (特にイギリス英語では burnt が好まれる)。

26.

解答 ①

【解説】

正解は①「位置」です。position は、物や人が存在する特定の「場所、位置」を意味します。例文は「地図上であなたの位置を私に示してください」となります。②「所有物」は possession、③「提案」は proposal、④「毒」は poison です。

◆補足：position は、「立場、見解」(What's your position on this issue?) や、会社での「地位、職」(a management position) など、多くの重要な意味を持つ多義語です。

27.

解答 ②

【解説】

正解は②「ごみ」です。trash は、特にアメリカ英語で、不要になった紙くずや包装など、主に乾いた家庭ごみを指す言葉として広く使われます。a trash can (ごみ箱) という形でよく目にします。①「現金」は cash、③「衝突」は crash、④「宝物」は treasure です。

◆補足：アメリカ英語では、生ごみを含むごみを garbage、乾いたごみを trash と使い分けることがあります。一方、イギリス英語では、家庭ごみ全般を rubbish と呼ぶのが一般的です。

28.

解答 ①

【解説】

正解は①「それにもかかわらず」です。nevertheless は、前に述べた事柄にもかかわらず、という意味を表す接続副詞で、however とほぼ同じ意味で使えますが、よりフォーマルな響きがあります。The book is long, but nevertheless, it's worth reading. (その本は長いですが、それにもかかわらず読む価値がある)。②「それゆえに」は therefore、③「さらに」は furthermore、④「さもないと」は otherwise です。

◆補足：nevertheless は、never (決して～ない)、the (その分)、less (より少なく) の3語から成り立っています。「前に述べた事柄によって、その価値が少しも少なくなることはない」というニュアンスが、現在の「それにもかかわらず」という意味につながっています。

29.

解答 ④

【解説】

正解は④bacteria です。この単語は、非常に小さく、どこにでも存在する「細菌」を指します。Some bacteria are harmful, but others are useful. (有害な細菌もいれば、有益な細菌もいる)。①virus は「ウイルス」で、bacteria よりもさらに小さく、単独では増殖できません。②fungus は「菌類、カビ」、③algae は「藻類」です。

◆補足：bacteria は、ラテン語の bacterium (バクテリア) の複数形です。そのため、厳密な文法では複数扱いですが、現代英語では集合的に単数として扱われることもあります (例：This bacteria is dangerous.)。

30.

解答 ②

【解説】

正解は②「協会」です。association は、共通の目的や関心を持つ人々が集まって作る組織、すなわち「協会、組合」を意味します。この例文は「彼は日本医師会に勤めている」となります。①「連想」、③「関連」、④「付き合い」も association が持つ意味ですが、Japan Medical という文脈から「協会」が最も適切です。

◆補足：association の動詞形は associate (関連づける、付き合う) です。in association with ~で「～と共同で、～と関連して」という重要な表現になります。

31.

解答 ③

【解説】

正解は③「よくある、共通の」です。common は、「頻繁に見られる、ありふれた」という意味と、複数の人や物に「共通の」という意味を持ちます。Smith is a common family name in England. (スミスはイギリスではよくある姓だ)。We share a common goal. (私たちは共通の目標を持っている)。①「穏やかな」は calm、②「複雑な」は complex、④「自信がある」は confident です。

◆補足：have ~ in common で「～という共通点がある」という重要な熟語になります。common sense は「常識」を意味します。ordinary (普通の) や usual (いつもの) と似ていますが、common は「広く共有されている」というニュアンスが特徴です。

32.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を保存する、～を保護する」です。preserve は、何かを良い状態のまま「保存する」、あるいは危険や破壊から「保護する、守る」ことを意味します。We must preserve the environment for

future generations. (我々は未来の世代のために環境を保護しなければならない)。①「～に値する」は **deserve**、③「～を準備する」は **prepare**、④「～を観察する」は **observe** です。

◆**補足**：preserve の名詞形は **preservation** (保存、保護) です。ジャムのように、食品を砂糖や酢で加工して「保存加工する」という意味もあります。類義語の **conserve** も「保護する」ですが、こちらは資源などを無駄遣いせず大切に使うニュアンスが強いです。

33.

解答 ②

【解説】

正解は②**flow** です。この動詞は、川の水、空気、電気、交通、情報などが、ある場所から別の場所へ途切れることなく滑らかに「流れる」ことを意味します。The river flows into the sea. (その川は海に注いでいる)。①**float** は「浮く」、③**follow** は「～の後を追う」、④**fly** は「飛ぶ」という意味です。

◆**補足**：flow は名詞としても「流れ」を意味します。the flow of traffic (交通の流れ)。類義語の stream も「流れる」ですが、小川が流れるような、より細く連続的な流れを指すことが多いです。

34.

解答 ①

【解説】

正解は①**matter** です。この動詞は、`It doesn't matter.` (それは問題ではない、気にしないで) という否定文や疑問文で非常によく使われ、「重要である、問題となる」という意味を表します。What you think matters to me. (あなたがどう思うかは私にとって重要だ)。②**master** は「～を習得する」、③**match** は「～と合う」、④**mean** は「～を意味する」という意味です。

◆**補足**：matter は名詞としても「問題、事柄、物質」など多くの意味を持つ重要語です。動詞の matter は、count とほぼ同じ意味で「重要である」と訳せます。

35.

解答 ③

【解説】

正解は③「偽の」です。fake は、本物のように見せかけた「偽の、偽物の」という意味の形容詞です。a fake diamond (偽のダイヤモンド) や fake news (フェイクニュース) のように使います。①「新鮮な」は **fresh**、②「公平な」は **fair**、④「弱い」は **weak** や **faint** です。

◆**補足**：fake は名詞として「偽物」、動詞として「～を偽造する」という意味も持ちます。類義語の artificial は、自然物ではない「人工的な」という意味で、必ずしも「偽物」というネガティブなニュアンスを含むわけではありません。counterfeit は、お金や商品を違法に「偽造した」という、より犯罪的な意味合いが強い単語です。

36.

解答 ④

【解説】

正解は④occur です。この動詞は、予期しない出来事が「起こる、発生する」ことを意味し、happen よりも硬い、フォーマルな響きを持ちます。An earthquake occurred last night. (昨夜、地震が発生した)。①offer は「～を提供する」、②occupy は「～を占める」、③offend は「～の気分を害する」という意味です。

◆補足：occur to ～の形で「(考えなどが) ～の心に浮かぶ」という重要な用法もあります。A good idea occurred to me. (良い考えが思い浮かんだ)。名詞形は occurrence (出来事、発生) です。

37.

解答 ①

【解説】

正解は①「気候」です。climate は、ある地域における長期間にわたる平均的な気象の状態、すなわち「気候」を指します。a warm climate (温暖な気候) のように使います。②「天気」は weather で、日々変化する短期的な気象の状態を指します。この二つの区別は非常に重要です。③「気温」は temperature、④「雲」は cloud です。

◆補足：climate change (気候変動) は、現代社会における最も重要なテーマの一つで、長文読解などで頻出します。また、比喩的に、特定の場所や組織の「雰囲気、風潮」という意味で使われることもあります。a political climate (政治的風潮)。

38.

解答 ③

【解説】

正解は③so that A can do です。この接続詞句は、「A が～できるという目的のために」という意味を表します。I spoke slowly so that everyone could understand. (皆が理解できるように、私はゆっくり話した)。①even if A can do は「たとえ A が～できるとしても」、②as if A can do は「まるで A が～できるかのように」、④unless A can do は「A が～できない限り」という意味です。

◆補足：so that A can do は、in order that A can do とほぼ同じ意味で、置き換えが可能です。また、文脈が明らかな場合は、so that A will do のように can 以外の助動詞が使われたり、単に so that S+V の形になったりします。

39.

解答 ②**【解説】**

正解は②react です。この動詞は、何か言われたり、されたりしたことに対して「反応する」、あるいは化学物質が「化学反応を起こす」ことを意味します。She reacted angrily to the criticism. (彼女はその批判に怒って反応した)。①recite は「～を暗唱する」、③reach は「～に到着する」、④relax は「くつろぐ」という意味です。

◆補足：react の名詞形は reaction (反応) です。react to ~ (～に反応する) の形で使われるのが基本です。語源は re- (反対に、返して) と act (行動する) で、「行動を返す」というイメージです。

40.

解答 ②**【解説】**

正解は②「～のおかげで」です。thanks to ~は、良い結果の原因や理由を示し、「～のおかげで、～のせいで」という意味を表します。Thanks to your help, I was able to finish the work on time. (あなたの助けのおかげで、私は時間通りに仕事を終えることができた)。①「～にもかかわらず」は in spite of ~、③「～の代わりに」は instead of ~、④「～に加えて」は in addition to ~です。

◆補足：thanks to ~は、皮肉を込めて悪い結果の理由を示すために使われることもあります。例：Thanks to the heavy traffic, I was late for the meeting. (ひどい渋滞のせいで、会議に遅刻した)。

41.

解答 ①**【解説】**

正解は①「～に抵抗する」です。resist は、攻撃や変化、誘惑などに対して「抵抗する、反抗する」、あるいは病気などに「耐える」という意味の動詞です。The soldiers resisted the enemy's attack. (兵士たちは敵の攻撃に抵抗した)。②「～から成る」は consist of ~、③「～を助ける」は assist、④「～と主張する」は insist です。

◆補足：resist の名詞形は resistance (抵抗)、形容詞形は resistant (抵抗力のある) です。I can't resist chocolate. (チョコレートには目がない) のように、好きなものへの誘惑に「抗えない」という意味で使われることも多いです。

42.

解答 ①**【解説】**

正解は①「物質」です。substance は、特定の物理的性質を持つ、あらゆる種類の「物質、物体」を指します。a chemical substance（化学物質）や a dangerous substance（危険物質）のように使います。

②「状況」は situation、③「距離」は distance、④「地表」は surface です。

◆補足：substance は、文章や話の「中身、実質、要点」という意味でも使われます。His speech lacked substance.（彼のスピーチは中身がなかった）。形容詞形は substantial で、「かなりの、相当な」や「実質的な」という意味の重要語です。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①gravity です。この単語は、物理学における「重力、引力」を指します。the law of gravity（引力の法則）のように使います。②agility は「敏捷性」、③activity は「活動」、④gradient は「傾斜、勾配」という意味です。

◆補足：gravity は、物理的な重力だけでなく、状況の「重大さ、深刻さ」という意味でも使われるフォーマルな単語です。the gravity of the situation（事態の深刻さ）。この意味では、seriousness と類義です。形容詞形は grave（重大な、深刻な）です。

44.

解答 ④

【解説】

正解は④fill です。この動詞は、コップに水を注いで「満たす」、あるいは穴を「埋める」、書類の空欄を「記入する」など、空間を何かでいっぱいにする様々な状況で使われます。Could you fill this glass with water?（このグラスを水で満たしてくれますか？）。①feel は「感じる」、②fall は「落ちる」、③fail は「失敗する」という意味です。

◆補足：fill A with B で「A を B で満たす」、fill in/out a form で「用紙に記入する」という形は頻出です。名詞としては、a filling で「(歯の) 詰め物」を意味します。

45.

解答 ④

【解説】

正解は④「外来の、原産でない」です。nonnative は、形容詞 native（その土地固有の、原産の）に、否定の接頭辞 non-がついた形で、動植物が元々その土地のものではない「外来の」ことを示します。nonnative species（外来種）は環境問題の文脈で頻出します。①「国家の」は national、②「否定的な」は negative、③「自然な」は natural です。

◆補足：nonnative は、人が「母国語話者ではない」という意味でも使われます。a nonnative speaker of English（英語を母国語としない人）。

46.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を追い払う」です。chase away ～は、望ましくない人や動物を「追い払う、追い立てる」ことを意味します。away（離れて）という副詞がつくことで、その場から去らせるニュアンスが強調されます。The farmer chased away the crows from his field.（その農夫は畑からカラスを追い払った）。②「～を追いかける」は chase after ～、③「～をあきらめる」は give up ～、④「～をでっちあげる」は make up ～です。

◆補足：chase は動詞で「～を追いかける」という意味です。単に追いかけるだけでなく、away をつけることで「追い払う」という目的が加わります。

47.

解答 ①

【解説】

正解は①mainly です。この副詞は、ある状況の大部分が、あるいは最も重要な理由が何かを示す際に使われます。The audience consisted mainly of young people.（聴衆は主に若者たちで構成されていた）。②merely は「単に、ただの」、③madly は「狂ったように」、④mutually は「相互に」という意味です。

◆補足：mainly は、chiefly や primarily とほぼ同じ意味で使えます。in the main という熟語も「概して、大部分は」という意味です。

48.

解答 ②

【解説】

正解は②instead of です。この前置詞句は、「～する代わりに、～ではなく」という意味で、代わりとなる選択肢を示します。後ろには名詞や動名詞が続きます。I decided to walk instead of taking the bus.（私はバスに乗る代わりに歩くことにした）。①in spite of は「～にもかかわらず」、③in front of は「～の前に」、④in case of は「～の場合には」という意味です。

◆補足：instead of A, B で「A ではなく B」という関係を示します。instead 単独で副詞として使うこともでき、その場合は「その代わりに」という意味になります。例：We have no coffee. Would you like tea instead?（コーヒーがありません。代わりに紅茶はいかがですか？）。

49.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を利用する」です。take advantage of～は、機会や状況などをうまく「利用する、活用する」という意味です。You should take advantage of this opportunity. (あなたはこの機会を利用すべきだ)。②「～の世話をする」は take care of～、③「～を考慮に入れる」は take account of～、④「～に気づく」は take notice of～です。

◆補足：take advantage of～には、「(人の弱みなど)につけこむ」というネガティブな意味で使われることもあるので注意が必要です。He took advantage of her kindness. (彼は彼女の親切心につけこんだ)。文脈によって、良い意味か悪い意味かを判断する必要があります。

50.

解答 ②

【解説】

正解は②landslide です。この単語は、land (土地) と slide (滑ること) が組み合わさった言葉で、文字通り「地滑り」を意味します。The heavy rain caused a landslide. (大雨が地滑りを引き起こした)。①landscape は「風景」、③landfill は「ごみ埋立地」、④landmark は「目印、画期的な出来事」という意味です。

◆補足：landslide は、選挙で特定の候補者や政党が圧勝すること、すなわち「圧勝」を意味する比喩的な用法も重要です。a landslide victory で「圧勝」となります。
